

写真図版



1 遺跡遠景
(空中写真・西より)



2 遺跡遠景
(空中写真・西より)



3 調査区遠景 (尾根上の遺跡)

1 調査区全景



2 第1号住居跡

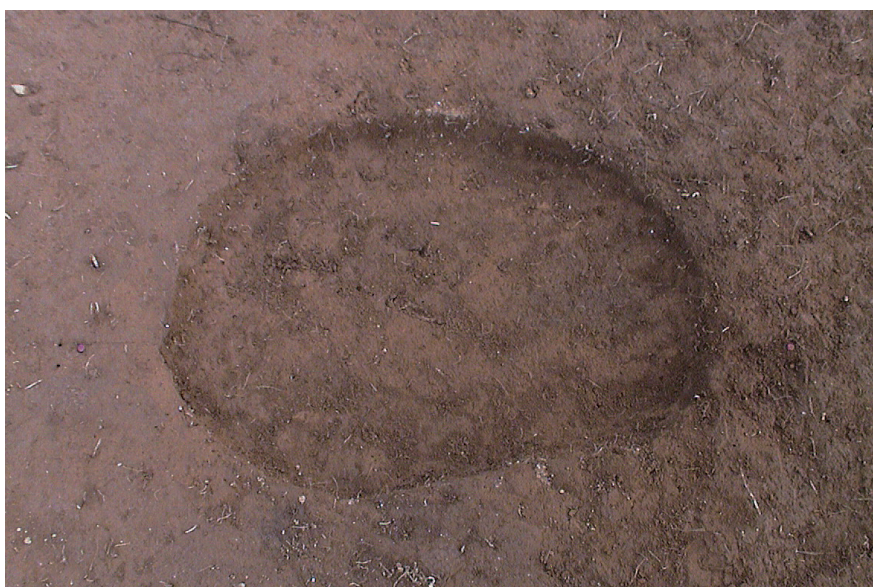


3 第1号土壙出土状況





1 第2号土坑完掘状況



2 第3号土坑完掘状況



3 第4号土坑完掘状況

1 黒曜石原石出土位置



2 黒曜石原石出土状況



3 旧石器調査区





1 旧石器調査区 (TP 2)
土層断面



2 試掘トレンチ



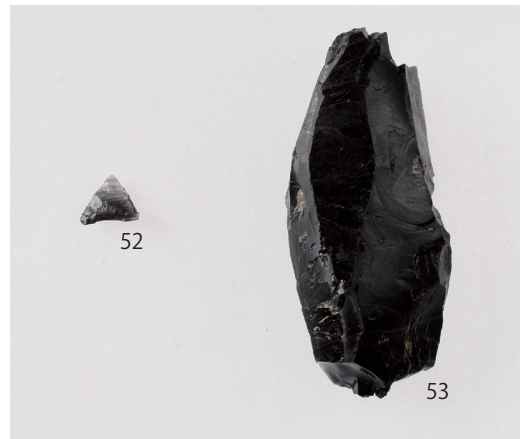
3 調査風景



1 第1号住居跡出土遺物 (第8図1)



2 土壙出土遺物 (第10図1~4)



3 遺構外出土遺物 (第12図52・53)



4 遺構外出土遺物 (第13図54~56・59・60・62)



1 遺構外出土土器 (第 11 図 1 ~ 11・13)



2 遺構外出土土器 (第 11 図 19・20・22・23・25 ~ 28・34 ~ 36・45・47・50)

1 遺跡遠景
(空中写真・西より)



2 遺跡遠景
(空中写真・北東より)



3 調査区遠景 (調査前)





1 調査区全景（表土除去後）



2 平場の調査（南より）



3 平場の調査（北より）

- 1 斜面部の土層
(礫のまとまりは
第1号井戸跡の上面)

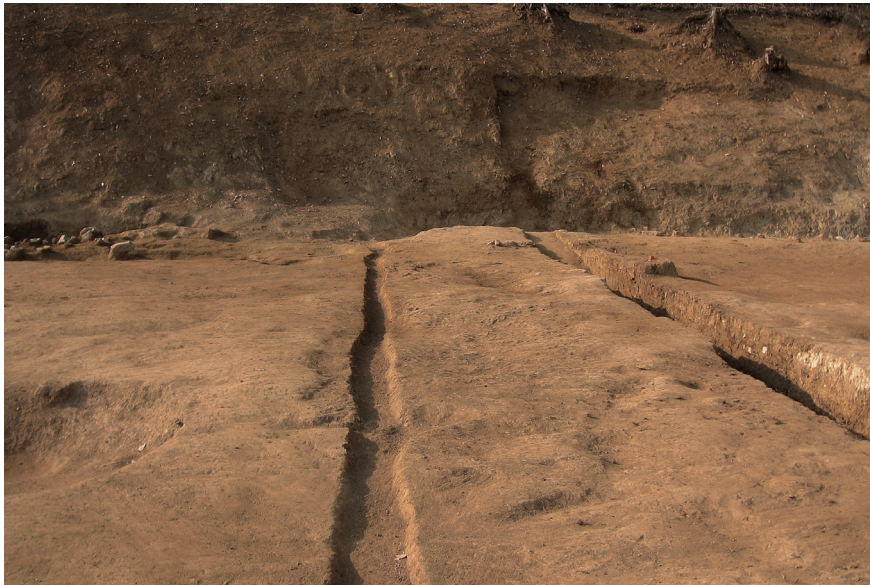


- 2 第1号溝跡 (東より)
(中央区南端の島状部分と
石材の化粧)



- 3 第1号溝跡 (北より)
(溝の中に石材が見られる)





1 第2号溝跡（東より）
（右側は試掘トレンチ）



2 第3号溝跡（北より）



3 第3・4号溝跡（西より）

1 第5号溝跡（北より）
（中央は残存した礎石）



2 第1号井戸跡（上面）
（井戸や溝に用いられた
石材が埋没している）



3 第1号井戸跡（西より）
（上面の石材を外した
ところ）





1 第2号井戸跡（東より）
（写真右側の石材の崩壊が
進む）



2 第2号井戸跡（北より）



3 第2号井戸跡
（崖側の小石集中部分）

- 1 第2号井戸跡（北より）
崖際に小石が集中して出土



- 2 井戸跡全景
（右手前が2号井戸跡、
左奥の石材が集中する
部分が第1号井戸跡）

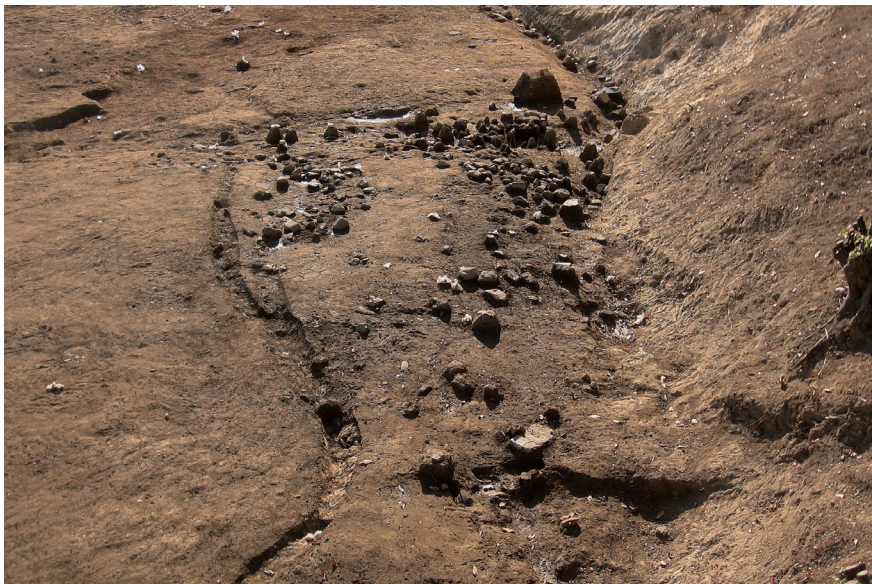


- 3 井戸跡全景（完掘）
（散乱する石材を撤去した
状況）





1 第1号建物跡（西より）



2 第5号溝西側の礫群
（第5号溝より東側では
石材はまったく出土
しない）



3 平場全景（南より）

1 遺跡北側の平場



2 平場へ向かう道



3 不動寺（鐘楼門）





1 不動寺
(応永8年銘のある塔)



2 不動寺 (町指定板碑)



3 富田大日堂 (金剛寺か)

1 福王寺北の小祠の石造物



2 福王寺墓地の石造物



3 観音堂裏の石造物





1 鷲丸山中にあった
石造物（1）



2 鷲丸山中にあった
石造物（2）



3 鷲丸山中にあった
石造物（3）



1 かわらけ (第34図35)



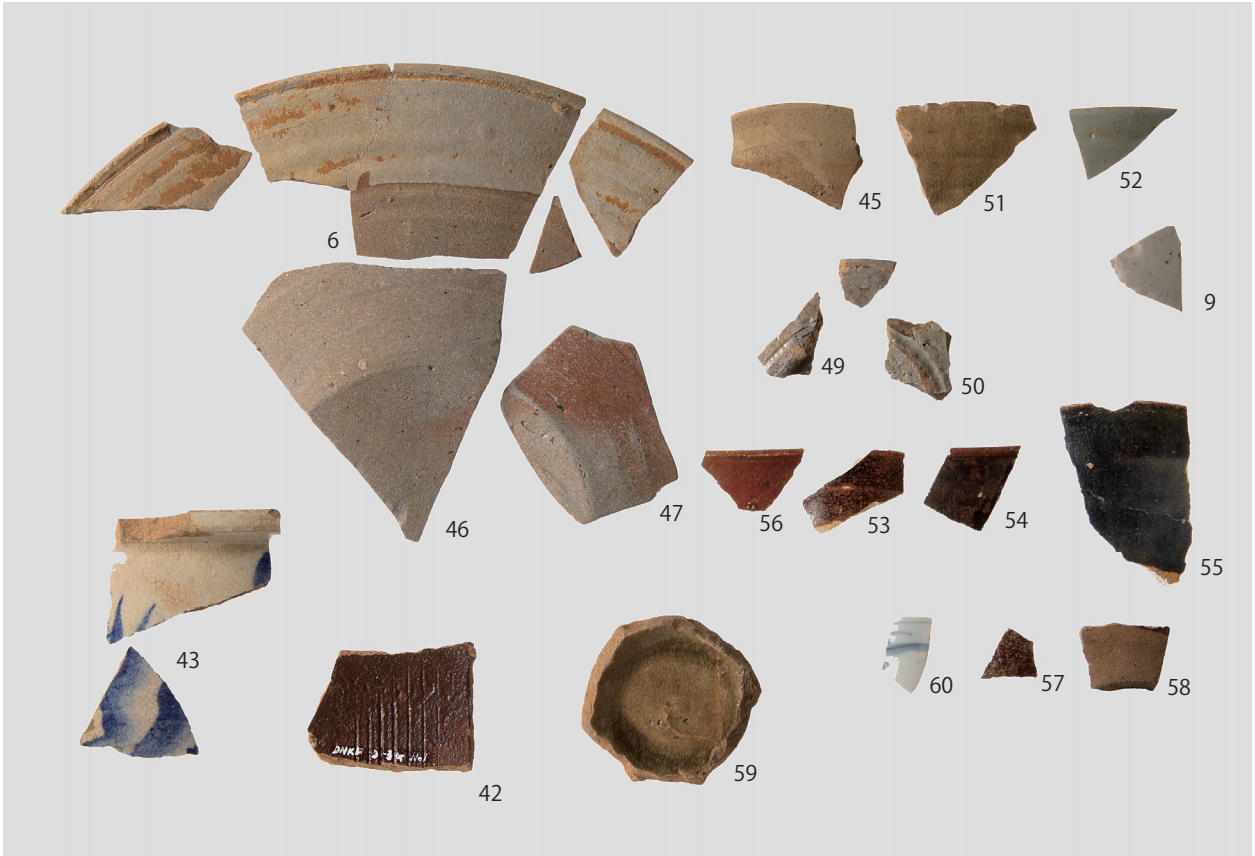
2 かわらけ (第34図36)



3 卸皿 (第35図48)



4 蓋 (第34図34)



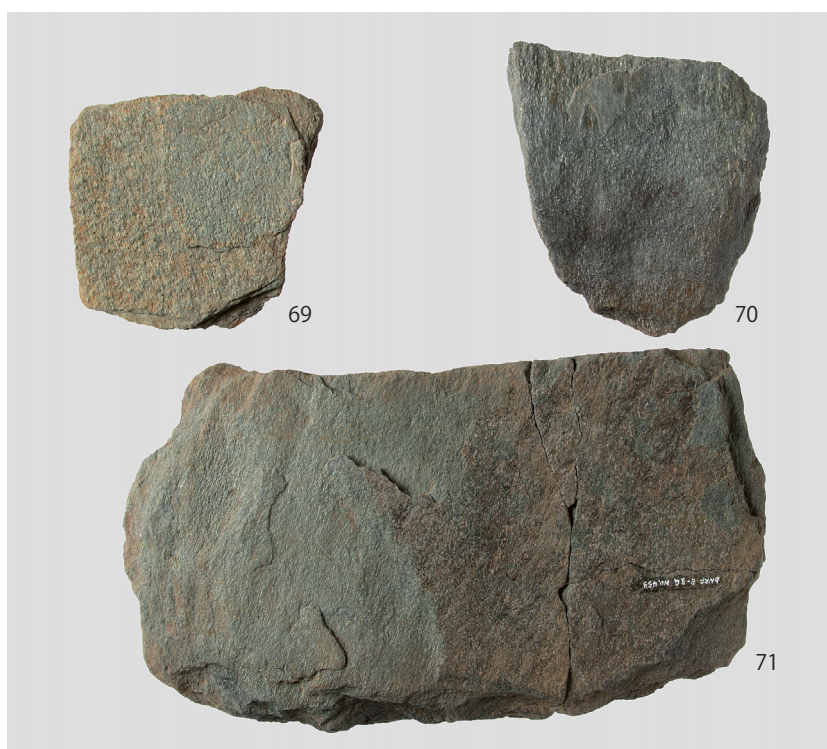
5 中・近世陶磁器 (第33～35図)



1 金属製品 (第 35 図 62 ~ 64)



2 板碑 (1) (第 35 図 65 ~ 68)



3 板碑 (2) (第 35 図 69 ~ 71)

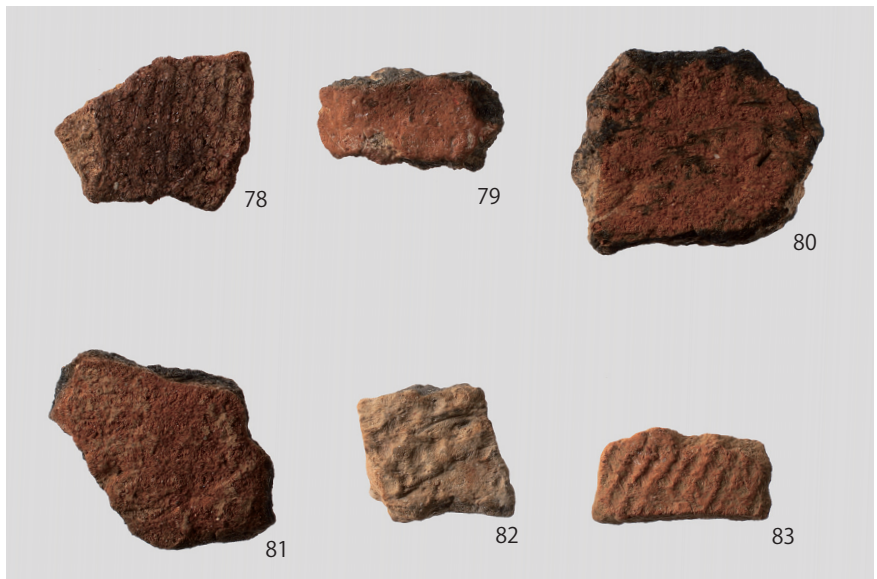
1 石製品 (1)
(第 36 図 73・74)



2 石製品 (2)
(第 36 図 72・75～77)



3 縄文土器
(第 36 図 78～83)



報告書抄録

ふりがな	ぜにこだいせき/でんきゅうふどうじあと							
書名	銭小田遺跡／伝旧不動寺跡							
副書名	ホンダ寄居新工場建設関係埋蔵文化財発掘調査報告							
巻次								
シリーズ名	埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書							
シリーズ番号	第359集							
編著者名	宮井 英一							
編集機関	財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団							
所在地	〒369-0108 埼玉県熊谷市船木台四丁目4番地1 TEL 0493-39-3955							
発行年月日	西暦2009（平成21）年3月16日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村遺跡番号		° ' "	° ' "			
ぜにこだいせき 銭小田遺跡	さいたまけんおおさとぐんよりいまちおおあざ 埼玉県大里郡寄居町大字 とみだあざぜにこだい 富田字銭小田2292番地	11408	245	36° 05' 41"	139° 14' 01"	20071001 ～ 20071031	600	工場建設
でんきゅうふどうじあと 伝旧不動寺跡	さいたまけんおおさとぐんよりいまちおおあざ 埼玉県大里郡寄居町大字 とみだあざわしまるした 富田字鷲丸下2364番3	11408	188	36° 05' 44"	139° 13' 48"	20071001 ～ 20071228	790	
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
銭小田遺跡	集落跡	縄文時代	竪穴住居跡 土壇	1軒 4基	縄文土器・石器		黒曜石原石が 出土	
伝旧不動寺跡	宗教関 連遺跡	中・近世	溝跡 井戸跡 建物跡	5条 2基 1棟	陶磁器・鉄製品・石製品・古銭			
要約	<p>銭小田遺跡および伝旧不動寺跡は、埼玉県大里郡寄居町大字富田に所在し、ホンダ寄居新工場の建設に伴って発掘調査が行われた。外秩父山地東端を形成する丘陵の一つである鷲丸山の尾根上に立地する遺跡で、北側には荒川によって形成された河岸段丘が広がる。</p> <p>銭小田遺跡は、遺跡範囲のほぼ半分の調査であるが、縄文時代中期後半の加曽利 E I 式期の住居跡 1 軒と土壇 4 基が発見された。また、遺構には伴わないが、黒曜石原石 1 点が出土している。</p> <p>伝旧不動寺跡は、不動寺の前身が在ったとされる平場であるが、発掘調査の結果、不動寺本体ではなく、不動寺に関連した施設が置かれていたものと推定される。溝跡 5 条、井戸跡 2 基、建物跡 1 棟を検出し、16～17 世紀の遺物が出土している。</p>							

埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第359集

錢小田遺跡／伝旧不動寺跡

ホンダ寄居新工場建設関係埋蔵文化財発掘調査報告

平成21年3月10日 印刷

平成21年3月16日 刊行

発行／財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

〒369-0108 埼玉県熊谷市船木台四丁目4番地1

電話 0493-39-3955

<http://www.saimaibun.or.jp>

印刷／誠美堂印刷株式会社